



第101号

森商工会議所だより

発行者

森商工会議所

会頭伊藤新吉

電話 2-2432

令和6年度

第1回通常議員総会開催

令和6年度第1回通常議員総会が6月27日(木)当所2階・交流イベントサロンに於いて開催され、議員49名(内委任状25名)が出席、はじめに、監事より監査報告がなされ、その後、令和5年度事業報告並びに収支決算報告が行われ、審議した結果、満場一致で承認されました。

【事業報告総括】

我国では、昨年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症状上の位置付けが5類感染症に移行したことを受け、社会経済活動の正常化が進み、一部、大手企業等においては、30年ぶりの高水準の賃上げが報道されています。しかしながら、その実情は、賃金上昇が物価上昇に追いついておらず、実質賃金は2年連続でマイナスとなりました。

また、ロシア・ウクライナ戦争、それに続くイスラエル・ハマスとの紛争など、国際関係における分断が露わにされ、地政学リスクは高まる一方であります。テロや武力紛争、戦争、それらに伴って生じるサプライチェーンの混乱、食料やエネルギー・資源の供給不足、価格高騰、為替や株式の乱高下の影響を受け、多くの中小・小規模事業者は依然として厳しい状況に置かれております。

日本経済は、低金利政策と円安の続く中から、非常に厳しい環境となり、当所では、様々な知恵と工夫を凝らし、令和5年度事業に取り組んでまいりました。これまで、隔年で実施してきました町民向けプレミアム商品券(さくら商品券)は、実に第10回目の販売となり、また同時発売された建設商品券は第8回目を迎え、町民の皆様のニーズに応じてまいりました。発売開始より間もなく目標販売額を上回るお申込を頂き、当所では森町へ補助金の増額を要請、ご支援を賜りまして、全員にご購入頂くことができました。物価の高騰・原材料高などの影響を受けている町民の皆様の一助を担うとともに、地元経済の回復に努めました。

さらに、前年度に引き続き飲食・プレミアム商品券を販売いたしました。86.3%の実績率に止まりました。プレミアム率50%(前年比半減)の影響が推測されるものの、地元飲食業の新たな問題・課題が表面化、森飲食店会をはじめ関係団体などが連携し、将来の街づくり構想など具現化による解決へ向かわねばなりません。

また、豊かな農水産物を有する我が森町ですが、知名度の引上げが課題のひとつであります。ポテンシャルの高い地元特産品を国内外に広く発信するため「商談会等出展支援事業」を継続的に実施して

まいりました。回を重ねることで、物流や商品価値などを背景に現地バイヤーと販路拡大に貢献、特産品の更なるPRに繋がるよう、出展者による実績報告など、活用事例の見える化により支援体制を強化してまいります。

この様に、森町の諸課題を解決し力強く前進するためには、森町役場、とりわけ森町長はじめ、森町議会、地元企業、経済団体等のコミュニケーションが何より重要と考えており、年に4回の懇談会開催の約束をさせ、令和5年度は4月と2月の2回、森町と当所との懇談会を開催いたしました。

昨年11月、森バイナリー発電所が稼働、その期待度は高まり、チャンスと見做し、地元産業への有効活用を伝えてまいりました。昨今、地球温暖化の緩和・対策のため、GX推進が強く叫ばれる中、クリーンエネルギー活用の恩恵は大きく、エネルギーの地産地消が可能となれば、地域で経済が循環し、地場産業の発展となります。また、地場で発電される電気や熱を地域の防災計画に役立てることは大変有効であり、オール森町での働きかけが必須です。

さらに、我が森町は活火山、駒ヶ岳を背負っており、噴火の危険性は高く、また、地震・津波発生時に、町民の生命、財産を守るためには、避難道の設置が急務であります。当所では、函館開発建設部の意見交換を通し、関係機関からの情報提供を受け、当町の抱える諸課題の現況を伝えるとともに、改善へ向けた取り組みを要望し続けてまいります。

森町が、安全・安心な街づくりを進めることは、将来を担う子どもたちを守ることであり、さらに、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みを築くため、学校と地域社会との協働は欠かせません。森町の子どもたちに、地元産業に関心を持ってもらえるよう、森中学校のキャリア教育の一環として「地域学習講話会」が開催されました。当所では、商業関係の講師依頼を受けし、会頭は、森町の子どもたちに向けて地元産業や経済の仕組みなどについて講話いたしました。

当所相談業務においては、会員様の経営指導の強化、インボイスや定額減税など税制改正対策、労務管理の指導強化(就業規則の備付、労使協定の締結等)、その他、経済情勢に対処するため、「中小企業等事業再構築促進補助金」の申請に伴うサポート並びに「森町特定創業支援事業」事業計画に係る相談・指導等を積極的に実施いたしました。また、確定申告の時期には、個別の事業所へのきめ細やかな対応にも尽力いたしました。

なお、当所財政基盤の強化を図るため、新入会員の加入勧奨を積極的に行い、令和5年度は4事業所の加入実績でありましたが、経営不振や高齢のため、13事業所様が退会されました。

令和5年度 森商工会議所収入支出決算書総括表

自 令和5年4月1日 ~ 至 令和6年3月31日

(単位:円)

| 科目 / 区分 | 一般会計 | 相談所会計 | 収益事業会計 | 退職金会計 | 基金会計 | 合計 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 決算額 | |
| 会費 | 9,324,875 | | | | | 9,324,875 |
| 特定商工業者負担金 | 199,000 | | | | | 199,000 |
| 道費補助金 | | 17,283,004 | | | | 17,283,004 |
| 町補助金 | 9,477,000 | 8,199,000 | | | | 17,676,000 |
| 商談会等出展支援事業補助金 | 360,255 | | | | | 360,255 |
| プレミアム商品券販売事業補助金 | 28,895,482 | | | | | 28,895,482 |
| 飲食プレミアム商品券販売事業補助金 | 10,137,979 | | | | | 10,137,979 |
| 事業収入 | 250,710 | 364,000 | 8,459,348 | | | 9,074,058 |
| 雑収入 | 454,018 | 34,673 | 973,780 | 432,905 | 1,444 | 1,896,820 |
| 繰入金 | 1,000,000 | 38,389 | 0 | 0 | 2,500,000 | 3,538,389 |
| 繰越金 | 3,094,600 | 0 | 4,752,275 | 12,268,370 | 22,079,844 | 42,195,089 |
| 収入合計 | 63,193,919 | 25,919,066 | 14,185,403 | 12,701,275 | 24,581,288 | 140,580,951 |

| 科目 / 区分 | 一般会計 | 相談所会計 | 収益事業会計 | 退職金会計 | 基金会計 | 合計 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | 一般会計 | 相談所会計 | 収益事業会計 | 退職金会計 | 基金会計 | |
| 事業費 | 1,441,520 | 1,824,398 | 0 | | | 3,265,918 |
| プレミアム商品券販売事業補助金 | 28,895,482 | | | | | 28,895,482 |
| 飲食プレミアム商品券販売事業費 | 10,137,979 | | | | | 10,137,979 |
| 給与費 | 8,284,766 | 18,219,921 | 2,967,849 | | | 29,472,536 |
| 福利厚生費 | 1,430,278 | 3,083,962 | 541,820 | | | 5,056,060 |
| 旅費交通費 | 557,140 | 581,390 | 0 | | | 1,138,530 |
| 事務費 | 2,950,885 | 661,839 | 797,330 | | | 4,410,054 |
| 家屋費 | 1,641,330 | | | | | 1,641,330 |
| 会議費 | 168,870 | 27,000 | 0 | | | 195,870 |
| 渉外費 | 590,600 | | 0 | | | 590,600 |
| 支払手数料 | | | 224,895 | | | 224,895 |
| 貸料 | | | 0 | | | 0 |
| 公課分担金 | 946,800 | | 1,665,600 | | | 2,612,400 |
| 福利環境整備費 | | 833,136 | | | | 833,136 |
| 繰出金 | 2,538,389 | | 1,000,000 | | 0 | 3,538,389 |
| 退職給与金 | | | | 716,232 | | 716,232 |
| 雑費 | 466,448 | 87,420 | 82,900 | | | 636,768 |
| 森町補助金返還額 | | 600,000 | | | | 600,000 |
| 未納会費回収不能額 | | | | | | 0 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支出合計 | 60,050,487 | 25,919,066 | 7,280,394 | 716,232 | 0 | 93,966,179 |
| 収支剰余金 | 3,143,432 | 0 | 6,905,009 | 11,985,043 | 24,581,288 | 46,614,772 |
| 合計 | 63,193,919 | 25,919,066 | 14,185,403 | 12,701,275 | 24,581,288 | 140,580,951 |

ほかに、会員企業従業員の福利厚生のための各種共済制度の充実と健康経営の推進、また、受験者ならびに検定担当者の健康と安全に配慮し、引き続き感染対策を講じた上での

検定試験の実施、さらに、ホームページによる企業情報の発信など、地域経済総合発展のため会員並びに役職員一同、総力を結集して活動してまいりました。

令和六年 春の叙勲

当所会頭 伊藤新吉氏

旭日小綬章を受章



2024年春の叙勲および褒章が4月29日付けで内閣府より発令され、森商工会議所会頭の伊藤新吉氏が『旭日小綬章（産業振興功労）』を受章されました。

当所の伊藤会頭は、1996年（平成8年）より常議員に就任。2010年（平成22年）には会頭に就任され、以降、14年間に亘り地域における経済界のリーダーとして、地場産業の振興、地域経済の活性化に尽力されました。これまでの功績により、令和六年春の叙勲で『旭日小綬章』を受章され、去る5月14日、東京プリンスホテルにて伝達式が執り行われ、その後皇居にて拝謁されました。

永年のご功績に対する、栄えある受章をお祝い申し上げます。

◎役員・議員・職員 表彰

◆北海道商工会議所連合会

永年勤続表彰

【役員・議員35年以上】

- ・議員 佐々木 修
（株）ヤマイチ佐々木精肉畜産 代表取締役
- ・議員 村上 正人
（有）マルイゲタ 代表取締役

【役員・議員10年以上】

- ・副会頭 阿部 剛士
（有）ガレージサンディ 代表取締役
- ・常議員 本間 信孝
（株）マルマス 代表取締役
- ・常議員 明井 清治
（株）みよい 代表取締役
- ・常議員 平井 克宏
（有）マルヤ設備工業 代表取締役
- ・常議員 橋本 治仁
（有）丸金橋本設備工機 代表取締役
- ・議員 林 伸
丸協石油（株） 取締役部長
- ・議員 吉田 信一
（株）マルモフーズ 代表取締役
- ・議員 黒滝 和男
黒滝不動産 経営主
- ・議員 伊藤 正広
（株）山昭伊藤食品 代表取締役
- ・議員 堀川 保
（株）マルニシ西田水産 代表取締役
- ・議員 野田 研介
（有）野田工業 代表取締役

【職員25年以上】

- ・嘱託職員 古内 久美子 （敬称略）

第72回全道商工会議所大会

7月5日・6日の2日間、岩見沢市に於いて第72回全道商工会議所大会が開催され、全道42商工会議所から約400名が出席しました。当所からは伊藤会頭はじめ7名の役員・職員が参加いたしました。

初日はゴルフ大会と懇親会が開催され、ゴルフ大会には伊藤会頭・水野副会頭・河野昭次常議員が参加いたしました。また、懇親会では地元、空知の特産品をふんだんに使ったお料理がテーブルを彩り、和やかなうちに進行されました。



2日目、本大会では、国歌斉唱、物故会員へ黙祷を捧げたあと、主催者を代表して道商連・岩田会頭が挨拶をされ、続けて、岩見沢商工会議所・松浦会頭が開催地代表として挨拶をされました。来賓者紹介に続き、北海道経済産業局長 鈴木洋一郎氏、北海道知事代理 浦本元人副知事、岩見沢市長 松野哲氏、日本商工会議所常務理事 畠山一成氏の4名が祝辞を述べられました。

議事においては、道内42商工会議所で取りまとめた地域の諸課題に対する政策提言・要望事項として、「現下の状況を打開する早急な景気・経済対策の実行」、「人手不足への対応強化並びに地域人材の確保・育成」、「中小・小規模事業者の事業活動を支える環境整備」など、特別提案を含む12議案が発表され、満場一致で採決されました。

この政策提言・要望事項は、当日、北海道や道内の関係省庁に手交されたほか、後日、国の財務省や国土交通省などの関係省庁に中央要望を行います。

新規学卒者の雇用についてのお願い〈要請手交〉

令和6年6月19日(水)、北海道渡島総合振興局、北海道教育庁渡島教育局、渡島町村会、北海道高等学校長協会、函館公共職業安定所から当会議所に対し、新規学卒者の雇用についての要請に関する手交が行われました。

管内における新規学卒者を巡る雇用情勢については、令和6年3月新規高等学校卒業生の本年3月の就職内定率が98.2%となった一方で、令和5年3月時点における道内新規高卒就職者の就職後3年以内の離職率が43.9%と、半数近くの者が就職後早期に離職している状況となっています。

当所会員企業様におかれましては、早期離職の防止及び職場定着のため、正社員求人への積極的な提供や企業情報の発信、公正な採用選考の実施、就労者への相談体制の構築、若年者の人材育成の推進について、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。



働く皆様に安心を。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための国の退職金制度です。

① 国の退職金制度!

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理!

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク!

節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんもお加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。



詳しくはホームページをご覧ください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

令和6年度第2期分

会費納入のお願い

7月は、当商工会議所の会費納入月となっております。

会費の納入はお手数ですがお振込または事務所までご持参下さいますようお願い申し上げます。

納付期限

8月9日(金)



~新入会員紹介~

[ビレッジベーカリー駒ヶ岳]

(敬称略)

新しく入会いただきました。
ありがとうございます。

